

資料

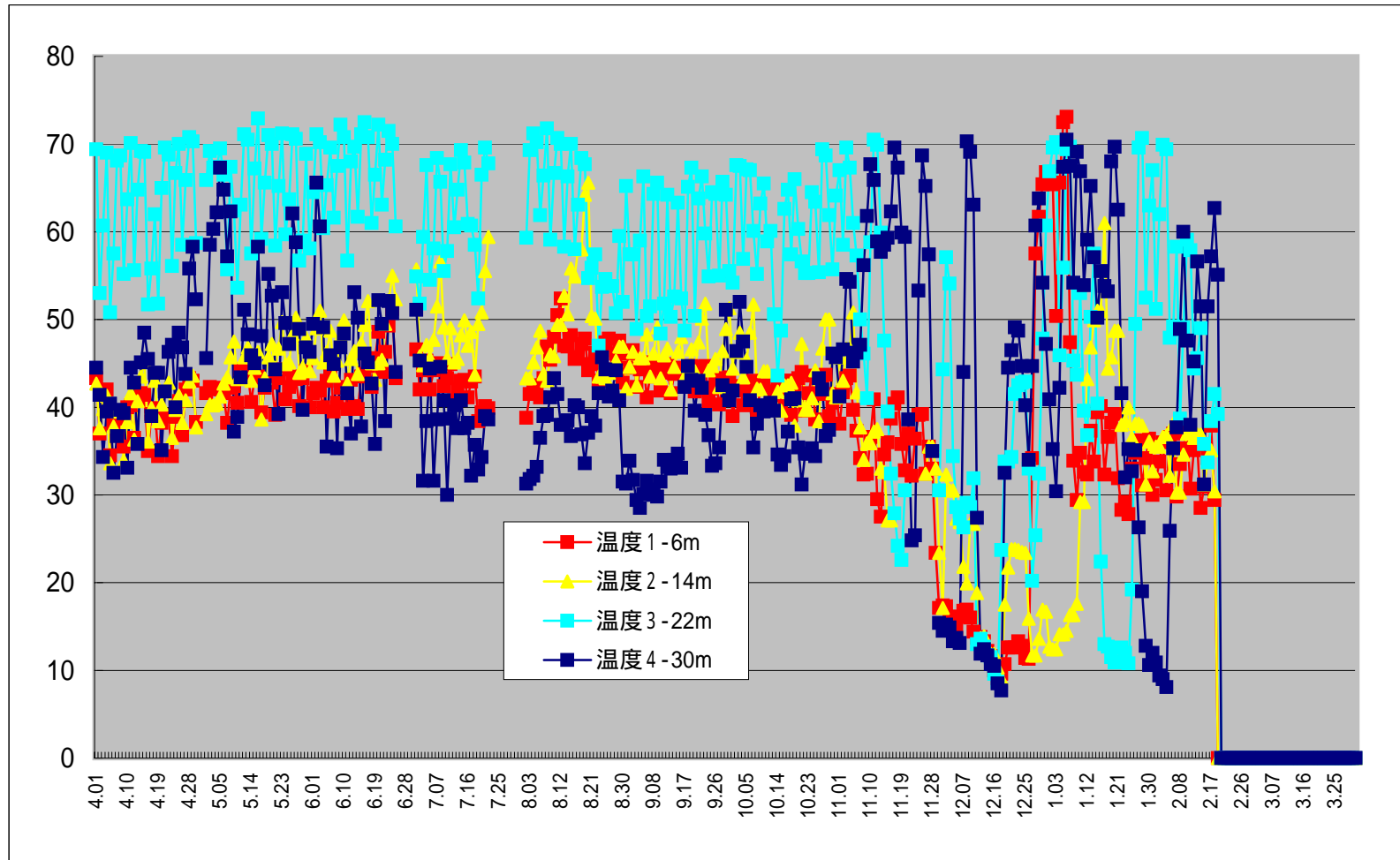
- 資料 1 施設の稼働状況 一次発酵槽温度グラフ
- 資料 2 食品残さたい肥受託試験報告書（施用マニュアル）
- 資料 3 生ごみたい肥成分分析結果、たい肥熟度判定表
- 資料 4 平成18年度 大地のめぐみ循環センター経費
- 資料 5 久喜宮代衛生組合・(株)アイル・クリーンテック共同実験計画
- 資料 6 たい肥製造施設 試算A案・B案
- 資料 7 現在の施設を利用したメタン化処理システム
- 資料 8 特殊肥料生産業者届出書
- 資料 9 平成19年度台所資源（生ごみ）たい肥の申し込みについて
- 資料 10 台所資源（生ごみ）使用状況アンケート

資料1 施設の稼働状況

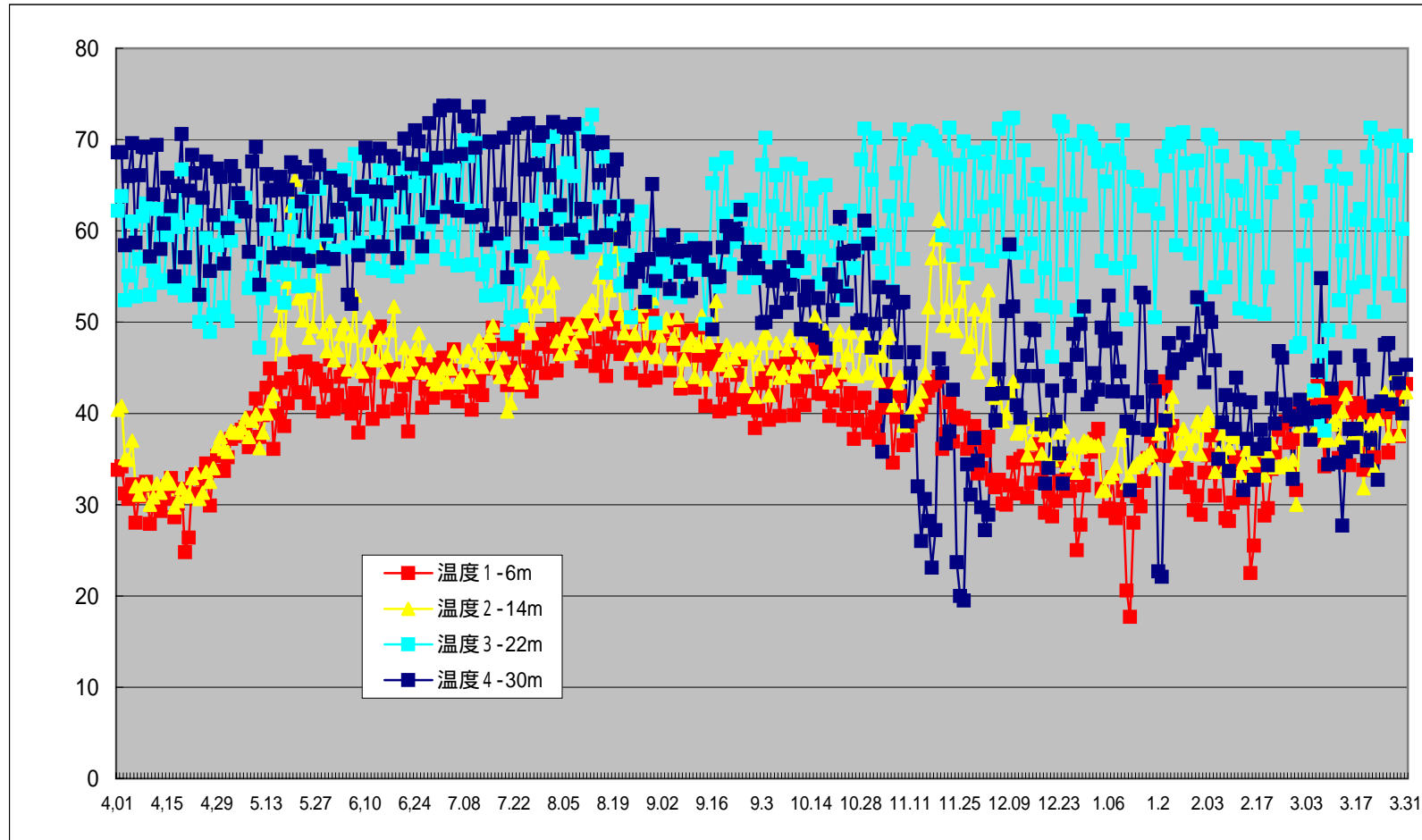
	項 目	当初値 又は 計画値	H17	H18
1	収集量 (t)		829	862
2	施設投入量 (t)		732	792
3	施設投入率 (%)		88.3	91.9
4	モデル地区世帯(東全地区含む)	当初 8,600	10,016	9,942
5	参加世帯	当初 4,342	4,991	5,143
6	参加率 (%)	計画 90%	49.8	51.7
7	施設稼働日数 (日)	計画365日(週4日では208日)	188	193
8	稼働一日平均処理量 (t)	計画 4.8	4.4(計画4.8に対し92%)	4.5(計画4.8に対し94%)
9	年間/一日最大投入量 (t)		5.7	5.4
10	年間/一日最小投入量 (t)		1.3	1.3
11	年間処理量 計画365日の場合	計画(4.8t × 365日 = 1752t)	732(計画1,752tに対し42%)	792(計画1,752tに対し45%)
12	年間処理量 週4日投入208日の場合	計画(4.8t × 208日 = 998t)	732(計画 998tに対し73%)	792(計画 998tに対し79%)
13	年間堆肥量 計画365日の場合	計画 161 (t)	19(計画 161tに対し12%)	35(計画 161tに対し22%)
14	年間堆肥量 週4日投入208日の場合	計画(161t × 208/365日 = 92t)	19(計画 92tに対し21%)	35(計画 92tに対し38%)
15	一日当り堆肥生産量 (kg)	計画 460 (kg)	101(計画 460kgに対し22%)	181(計画 460kgに対し39%)
16	投入時生ごみ水分 (%)	計画 85 (%)	81.8%	82.1%
17	脱水後水分 (%)	計画 70 (%)	70.4%	72.0%
18	管内世帯数 4/1現在		39,894	40,269
19	人口 (人) 4/1現在	参考 (H19)計画 117,292人	107,775	107,391
20	一世帯人員 (人)	参考 家庭用堆肥化 2.85(人)	2.70(計算値)	2.67(計算値)
21	一人一日当堆肥可能生ごみ排出量 (g)	191g	169(対計画88%)	172(対計画90%)

H18年のデータはないため、H19年のデータを記載しています。

平成19年度発酵槽温度



平成18年度発酵槽温度



久喜宮代衛生組合食品残さたい肥受託試験報告書（抜粋）

平成17年度受託試験

調査目的

家庭からの生ごみを主原料として生産されたたい肥の適切な堆肥製造管理並びに施用技術を確立する。

供試資材

食品残さたい肥（二次発酵たい積開始後、60日目）

施用マニュアル（水稲）

水稲：	早期・早植（5月上旬～5月下旬植）コシヒカリ
地域：	排水性の良い灰色低地土、排水性の悪い土壌では異常還元が発生する可能性があるため、施用を控える。
たい肥施用量：	300kg/10aを上限とする。 たい肥の分解率が、30%程度と大きくなく、あとぎきする可能性があるため多量施用は避ける。
施用時期：	収穫後、水田が乾いた状態の秋期から遅くとも移植2か月前までに施用し、土壌と十分になじませる。
施肥：	慣行栽培とし、たい肥は上乘せでも問題ない。
注意事項：	石灰含有量が高いため、石灰質肥料との併用は避ける。

平成18年3月（埼玉県農林総合研究センター戦略プロジェクト第2研究担当）

施用マニュアル（コマツナ、キャベツ、サトイモ）

園芸作物：	コマツナ、キャベツ、サトイモで利用。 施設野菜、花、果樹は検討が無いので利用しない。
適用地域：	排水性の良い褐色低地土、灰色低地土。排水性の悪い土壌では、施用を控える。土壌pHが7を超えている畑では施用しない。
たい肥施用量：	短期栽培作物（アブラナ科野菜：収穫まで30～40日）では、0.5t/10aを上限とする。サトイモ等の長期栽培作物（年1作）では、1t/10aを目安とする。いずれの作物においても年1回施用を厳守する。この場合、他の石灰資材は施用しない。
施用時期：	早春～夏に施用する。地温の下がる秋以降は施用しない。は種及び定植の10日前までには施用し、十分土になじませる。
施肥：	慣行栽培とし、たい肥は上乘せでも問題ない。
土壌診断：	連用した場合は、必ず年1回土壌診断を実施する。

平成18年3月（埼玉県農林総合研究センター 園芸研究所 生産環境担当）

生ごみたい肥成分分析結果

			単位	基準値	H18/8	H18/8	H18/11	H18/12	H19/1	H19/6	H19/11
					40ロット 1	1ロット	4ロット	アイル 2	6ロット	16, 17, 18ロット	-
水分			%		42.79	35.24	29.84	31.55	34.15	19.87	8.02
Ph					9.38	7.94	8.15	7.58	8.51	7.95	8.41
電気伝導度	EC	dS/m			10.30	8.17	7.14	5.73	7.91	7.17	7.04
炭素	T-C	%			19.04	26.35	29.02	25.81	26.07	33.30	39.78
窒素	T-N	%			1.96	1.77	2.52	1.86	2.19	2.49	2.80
リン酸	P2O5	%			1.76	1.03	0.94	0.36	0.88	1.53	1.63
加里	K2O	%			1.90	1.61	1.41	1.57	2.32	1.63	1.94
石灰	CaO	%			16.83	13.36	6.49	2.04	8.25	9.29	10.38
苦土	MgO	%			0.43	0.36	0.36	0.24	0.42	0.41	0.49
C/N比				20以下	9.72	14.85	11.50	13.91	11.90	13.40	14.20
銅	Cu	mg/kg			29.24	21.61	23.58	13.30	38.53	24.00	23.00
亜鉛	Zn	mg/kg	120 mg/kg以下		90.18	65.92	73.37	47.70	86.61	78.00	99.00
水銀	Hg	mg/kg	50 mg/kg以下		n.d.	0.02	0.06	0.03	0.01	0.03	0.03
ヒ素	As	mg/kg	5 mg/kg以下		0.12	0.23	0.83	0.14	0.12	0.27	0.20
カドミウム	Cd	mg/kg	2 mg/kg以下		0.33	0.26	0.35	0.08	0.30	0.35	0.40
鉛	Pb	mg/kg			4.20	4.38	5.44	3.82	5.20	5.20	7.26
塩化ナトリウム	NaCl	%	5 %以下		3.57	2.60	1.02	0.85	1.72	1.72	2.82
粗脂肪			%	5 %以下	0.52	1.18	0.22	0.03	2.93	2.93	2.26
					生ごみのみ	剪定枝	剪定枝	もみがら	剪定枝	剪定枝	剪定枝
					は、施設建設工事発注仕様書に基づく基準値	400kg	800kg		800kg	800kg	800kg
					は、肥料取締法に基づく基準値				戻し堆肥		
					は、「全国食品リサイクル協会」の品質基準値(湿式灰化による試料溶液を蛍光光度計または原子吸光度計によりナトリウムを定量する(塩化ナトリウム)ジエチルエーテル抽出法(油分))				400kg		

1. ロットとは生ごみ2週間分を1ロットとしており、その生産番号である。
2. 民間事業者への委託処理の可能性を確認するため、久喜宮代衛生組合と㈱アイルクリーンテックによる共同実験で、生ごみにもみ殻を加えてできたたい肥の成分分析結果である。

たい肥熟度判定表

久喜宮代衛生組合「大地のめぐみ循環センター」平成18.7～平成19.12

ロット	1次発酵槽排出日	熟成期間(日)	酸素消費量測定値(μg/min/g)								製品化日
			測定日	測定値	測定日	測定値	測定日	測定値	測定日	測定値	
1	7/6 ~ 7/17	10	7/18	10	7/25	4					7/27
2	7/20 ~ 7/31	33	8/18	8	8/22	7	8/28	7	8/29	4	9/3
3	8/3 ~ 8/14	86	9/12	6	10/12	8	10/20	9	11/7	7	11/8
4	8/17 ~ 8/28	44	10/16	11	11/6	8	11/7	8			11/10
5	8/31 ~ 9/11	98	11/15	8	11/29	8	12/14	7			12/18
6	9/14 ~ 9/25	87	11/15	10	11/29	6	12/14	7			12/21
7	9/28 ~ 10/9	113	12/27	11	1/19	9	1/30	9			1/30
8	10/12 ~ 10/23	106	12/28	13	1/19	8	1/30	8			2/6
9	10/26 ~ 11/6	161	4/9	9	4/13	8					4/16
10	11/9 ~ 11/27	113	3/12	8							3/20
11	11/30 ~ 12/11	156	5/10	9	5/15	8					5/16
12.13	12/14 ~ 1/11	62	2/16	13	2/26	12	3/12	7			3/14
14.15	1/19 ~ 2/15	60	4/9	9	4/13	8					4/16
16.17.18	2/19 ~ 4/5	48	5/10	11	5/15	11	5/21	8			5/23
19.20.21	4/9 ~ 5/21	30	6/19	9							6/20
22.23	5/24 ~ 6/18	35	7/19	5							7/23
24.25.26	6/21 ~ 7/30	24	8/9	3							8/24
27.28.29	8/2 ~ 9/10	23	10/2	6							10/3
30.31.32	9/13 ~ 10/22	29	11/15	7							11/20
33~37	10/25 ~ 12/25	36	1/28	7							1/30

熟度判定には、コンポテスター(たい肥酸素消費量測定装置)測定値が9以下で製品化する。その他に臭気、色、期間を考慮する。

ロットNOとは、1次発酵排出日4回分を1ロットとしての、製造番号である。

熟成期間とは1次発酵槽最終排出日から製品化日までの期間とした。

平成18年度 大地のめぐみ循環センター経費

(単位 円)

		名 称	金 額
施設維持管理費	1	需用費(消耗品)	1,599,235
	2	燃料(灯油)	5,115,600
	3	電気代	5,385,506
	4	水道代	94,143
	5	ガス代	58,580
	6	施設運転管理委託	25,200,000
	7	施設定期点検(整備工事)	30,154,950
	8	ごみ汚水槽清掃・処分	866,880
	9	施設修繕	2,465,190
小計...			70,940,084
その他の経費	10	生分解性袋	17,255,120
	11	台所資源回収業務	7,350,000
	12	たい肥等成分分析及び県試験	258,000
	13	工事関係(付帯設備等)	924,000
	14	備品購入	1,206,450
	15	生分解性袋開発経費	0
16	たい肥配布・施用等業務	689,168	
小計...			27,682,738
計... +			98,622,822
償還	18	公債費(元金)	40,115,179
	19	公債費(利子)	4,945,270
小計...			45,060,449
合計(+ +)			143,683,271

1トンあたりの経費：124,524円
(施設維持管理費・その他の経費÷処理量792トン)

1トンあたりの経費：181,418円
(施設維持管理費・その他の経費・公債費÷処理量792トン)

台所資源(生ごみ)堆肥化 久喜宮代衛生組合・(株)アイルクリーンテック共同実験計画

【総則】

台所資源(生ごみ)を民間事業者にて処理(堆肥化)が可能であるか、また、その搬出方法等について確認することを目的とし、久喜宮代衛生組合と(株)アイルクリーンテック共同にて実験研究するもの。

1. 年月日

平成18年9月28日(木)

2. 搬出場所

埼玉県寄居町 彩の国資源循環工場内
(株)アイルクリーンテック パレット式有機資源リサイクルセンター

3. 搬出量

1パレット分(約250kg)

4. 搬出方法

去る5月18日に別紙「株式会社アイルクリーンテック打ち合わせ記録」のとおり、生分解性袋を取り除く必要があります。

搬入日当日午前中に施設搬入車両1台分を施設プラットホームに空けて、手作業にて生分解性袋を取り除き、台所資源(生ごみ)をポリバケツに入れる。午後、2t車にて搬出。

5. 実験内容

1) (株)アイルクリーンテック寄居工場にて上記搬出方法で搬入された台所資源(生ごみ)をパレット1台に投入。7週間での堆肥化。

2) 堆肥化工程中の経過観察

以下の項目について(株)アイルクリーンテックにて実施する。

温度測定...毎日

EC値・Ph値測定...週1回

含水率測定...週1回

3) 堆肥の成分分析

久喜宮代衛生組合にて出来上がった堆肥の成分分析を埼玉県農林総合研究センターに依頼し、データに関しては、両者で共有する。

6. その他

1) 搬出先(寄居町)への連絡

2) 費用

(株)アイルクリーンテックにて、通常23円/KGの処理費用であるが、データ共有等により無償にて実施するもの。

台所資源(生ごみ)堆肥化 久喜宮代衛生組合・㈱アイルクリーンテック共同実験報告

1．実験実施年月日

平成18年9月28日～平成19年3月15日

2．台所資源(生ごみ)搬出状況

別紙参照

3．発酵状況等

別紙参照

4．製品堆肥分析結果

別紙「分析成績書」参照

5．考察

台所資源(生ごみ)搬出については、前処理として現在排出していただいている状況では受入は不可能とのことであり、生分解性袋を取り除く必要があった。また、輸送方法ですが、今回、量が250kgと少量であった為、大きめのバケツ8個で対応したが、多量になった場合には、輸送時間等もあり、汚水の対応が必要と思われる。

問題点

アイルの受入条件(袋なし・汚水なし)

6．アイルクリーンテックへの報告

別紙に分析成績書を添付

【搬入状況】

平成18年9月28日 委託回収車(中央・上町・北・ライオンズ分) 990KG

搬入状況



【袋取り除き作業】

搬入された台所資源の生分解性袋及び夾雑物を取り除き、搬出用バケツに投入。なお、夾雑物については、ほぼ見受けられなかった。30KG バケツ×7個 + 40KG バケツ×1個 250KG

台所資源水分:81.8%

P h:6.16

選別状況



搬出用台所資源



【アイルクリーンテック搬入】

同日午後1時に寄居町にある彩の国資源循環工場アイルクリーンテックに搬入。準備されたパレットに床材(もみがら:360KG=約1m³)が投入されていた。そしてパレットに台所資源250KGを投入。

その後、7週間かけてたい肥化处理(9/28~11/16)。熟成期間1ヶ月~1ヵ月半(11/16~12/16)。

床材(もみがら)



パレットへ投入

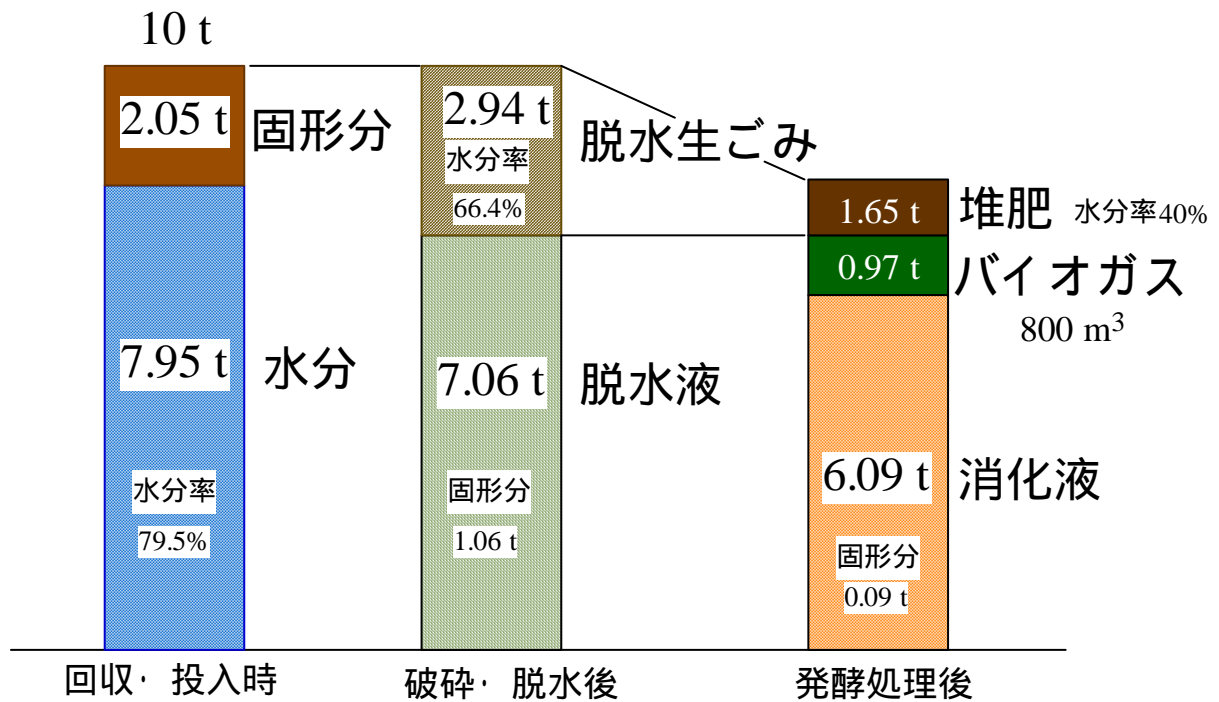
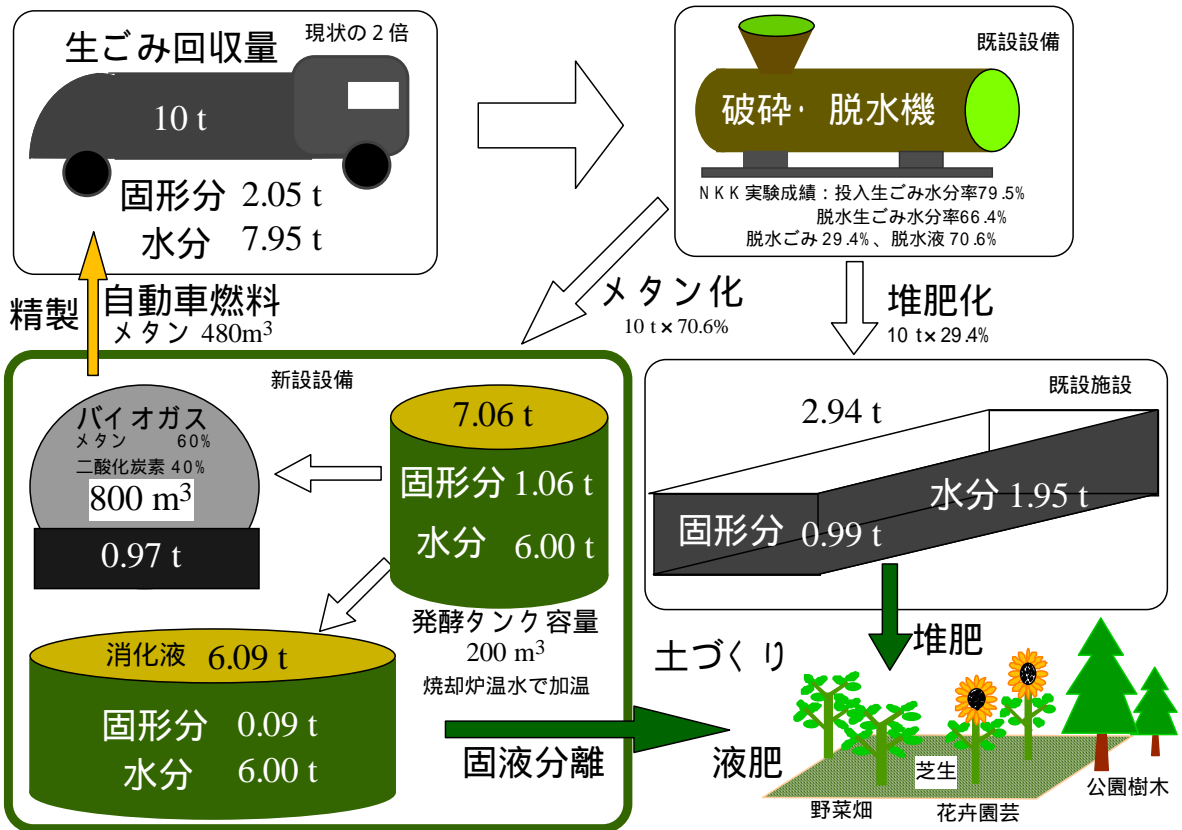


たい肥製造施設 試案

項目	A	B
処理能力(受入れ生ごみ)	20 t / 日	20 t / 日
敷地面積	約12,000m ²	約8,600m ²
施設整備費等	2,500,000,000円	2,000,000,000円
年間処理量(208日/年)	4,160 t	4,160 t
15年間処理量	62,400 t	62,400 t
施設整備費等(1 tあたり処理費)	40,064円	32,051円
施設運営管理費(15年平均)	104,475,000円	55,445,000円
施設運営管理費(1 tあたり処理費)	25,114円	13,328円
施設整備・運営管理費(+)	65,178円	45,379円
副資材割合	約20%	50% ~ 65%
副資材使用量/日	4.3 t (剪定枝 戻し)	13.0 t (剪定枝 籾殻 古紙 戻し)
年間副資材使用量(208日/年)	894.4 t	2,704.0 t
年間たい肥生産量	1,156 t	1,934 t
受入・前処理設備	トラックスケール	トラックスケール
	生ごみ受入ヤード	
	副資材置き場	副資材置き場
		古紙受入ホッパ 古紙破碎機
	生ごみ受入ホッパ	生ごみ受入ホッパ(2基)
		副資材受入ホッパ(2基)
	生ごみ受入コンベア	
	破袋機(2基)	破碎機(2基)
	生ごみ搬送コンベア	原料搬送コンベア(2基)
	前処理用磁選機	
	脱水機	
原料混合ヤード	原料投入コンベア	
発酵槽投入手法	重機による投入	自動投入
一次発酵槽	70m × 6m × 2.5m × 2槽	70m × 7m × 2m × 2槽
通気用送風機	ターボファン(8基) ヒーター付	ターボファン(2基)
一次発酵期間	60日	14日
二次発酵槽面積	480m ²	
二次発酵期間	80日	28日
後選別設備	堆肥選別機(トロンメル式)	篩い分け装置(トロンメル式)
	後処理用磁選機	後処理用磁選機
	風力選別装置(2基) 集塵機	
袋詰設備	自動袋詰	自動袋詰
製品保管庫	たい肥6ヶ月分	たい肥6ヶ月分
排水処理設備	汚水槽	貯留タンク
排水処理後水	焼却施設圧送	下水道放流
脱臭設備	ロックウール脱臭式(2式)	薬液洗浄式 生物脱臭方式
ショベルローダー	3台	3台
運転人員	5名	4名

施設整備費等には、用地費は含まない。

施設運営管理費には、台所資源(生ごみ)回収費、生分解性袋費等、その他経費は含まない。



平成19年度台所資源（生ごみ）堆肥の申し込みについて

久喜宮代衛生組合

1 はじめに

日頃、モデル地区の皆様方には衛生組合の「台所資源（生ごみ）堆肥化事業」にご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

この度、モデル地区の皆様には堆肥申込書を配布いたします。（堆肥は無料）堆肥は、プランター・鉢物の他に、家庭菜園や農地で使用することが出来ます。

なお、使用に際しては かならず下記の「使用上の注意」をご確認下さい。

この堆肥は、台所資源（生ごみ）を主原料とし、副資材として剪定枝を混合して生産した堆肥です。

2 使用上の注意について

家庭菜園や畑地の場合

堆肥の施用量は10㎡で5キログラム、1坪で1.5キログラムを目安とします。なお、石灰肥料(消石灰など)の併用はしないでください。

施肥は年1回とし、時期は2月～8月に施用します。地温の下がる秋以降は施用しないこと。播種及び定植の10日前までに施用し、十分に土となじませてください。

今まで栽培していた方法で、この堆肥を上乗せ使用することも出来ます。堆肥は排水性の良い土地で施用するものとし、排水性が悪いところでは施用を控えてください。また、アルカリ性の高い土地では施用しないでください。（pH7を超えている土壌）

堆肥は、施設野菜(ビニールハウスや温室等)、果樹、盆栽、山野草類では事例の検討が無いため、施用を控えてください。

（裏面に続く）

プランター・鉢物の場合

土（植付土）との混合比率は5%以下としてください。
 （衛生組合の実験では、混合比率5%が最も良い結果が出ています）

使用事例

たて18cm×よこ58cm×高さ15cmのプランターの場合（中型用）

プランター内の植付土の重量 8キログラム

上記に対する堆肥量 8キログラム×5% = 400グラム

10キログラム一袋で、約25個のプランターに植付けができます。

あらかじめ、堆肥と土を混ぜて準備をしておき、一週間程度経過しましたら、種まき・植付けをして下さい。

他の肥料と混ぜて使用する場合は、の堆肥の成分表を参考にしてください。（市販の培養土を使用する場合は、すでに肥料分が含まれていますので、生ごみ堆肥は5%未満で十分な肥料効果があると思われます）

堆肥の成分表（現物あたりの値）

窒素	2.5%	苦土	0.4%	塩化ナトリウム	2.2%
りん酸	1.5%	炭素窒素比	13.4	水素イオン濃度(PH)	8.0
加里	1.6%	銅	24.0mg/kg		
石灰	9.3%	亜鉛	78.0mg/kg		

その他

注意事項

堆肥に、直接種をまいたり、植付けたりすることはできません。

配布時期

平成20年2月頃を予定（日時、場所等は区長をとおしてお知らせします）

連絡先

久喜宮代衛生組合 業務課堆肥化推進担当 0480 - 34 - 2042

..... 切り取り線

..... 切り取り線

台所資源（生ごみ）堆肥申込書

枠の中をご記入のうえ、12月28日まで に各地区の区長さんもしくは班長さんまで申し込んでください

住	所	
氏	名	
電	話	番 号
申	込	量
		1世帯、10kg入袋を1袋

申込書の個人情報、後日実施する堆肥使用状況アンケートで利用する事に同意いたします。

台所資源（生ごみ）たい肥使用状況アンケート結果

アンケート実施期間 平成19年7月10日～31日
 アンケート依頼枚数 150枚
 アンケート回収枚数 74枚（回収率49.3%）

どのような作物にお使いになりましたか？（重複回答あり）

野菜 62件

あしたば	アスパラガス	いんげん	ウリ
枝豆	オクラ	カボチャ	きゅうり
キャベツ	ゴーヤ	コマツナ	サトイモ
シシトウ	シソ	ジャガイモ	生姜
スイカ	大根	大豆	チンゲンサイ
トウガラシ	トウモロコシ	トマト	ミニトマト
なす	ナンキンマメ	にんじん	ニンニク
ネギ	ハクサイ	パセリ	パプリカ
ピーマン	ブロッコリー	ほうれん草	メロン
ラディッシュ			

以上 37種類

花 33件

水仙	しゃくなげ	グラジオラス	アジサイ
菊	チューリップ	花アオイ	マーガレット
バラ	ボタン	ゆり	サクラソウ
山野草	ペチニア	シャクヤク	松葉ボタン
ポーチュラカ	朝顔	パンジー	ディージー
ハイビスカス	ベコニア	三色すみれ	

その他 …5件

梅	柿	ブルーベリー	キンカン
---	---	--------	------

他のたい肥と一緒にお使いになりましたか。

使った

(1)化学肥料と混ぜた・・・39件(53.4%)

苦土石灰	配合肥料	化成10-10-10	花工場
化成14-14-14	硫安	過磷酸石灰	県配8号

(2)たい肥と混ぜた・・・15件(20.5%)

米ぬか	鶏糞	油粕	落ち葉
腐葉土	馬糞	豚ふん	牛糞

使わない(台所資源のみ)・・・19件(26.0%)

作物の生育状況はいかがでしたか。

良かった・・・ 56件(75.7%)

台所資源+化学肥料・・・18件
 台所資源+化学肥料+たい肥・・・12件
 台所資源+たい肥・・・10件
 台所資源のみ・・・16件

悪かった・・・ 4件(5.4%)

台所資源+化学肥料・・・2件
 台所資源+化学肥料+たい肥・・・1件
 台所資源+たい肥・・・0件
 台所資源のみ・・・2件

変わらない・・・ 14件(18.9%)

台所資源+化学肥料・・・5件
 台所資源+化学肥料+たい肥・・・5件
 台所資源+たい肥・・・3件
 台所資源のみ・・・1件

○他の条件により左右されるかと思いますが、作物の生育結果はどうでしたか。

野菜	(1)味が	良かった	29件
		悪かった	1件
	(2)収穫量が	多かった	29件
		少なかった	4件
	(3)今までと変わらない		15件

花	(1)花が	多くついた	15件
		少なかった	0件
	(2)花が	大きかった	13件
		小さかった	0件
	(3)花が	長持ちした	7件
		枯れてしまった	2件
	(4)今までと変わらない		6件

その他

- さつきは色があざやかで大きかった。
- 地植えにすれば、もっとたくさん咲くと思う。
- 山草の花・強すぎた枯れた草もありました。
- ペチュニア類・肥料のせいかわさねをした。
- なす、ピーマン、きゅうりなどきになるものは良いが。葉物は育ちません。

作物の生育などが良かった原因、悪かった原因は何にあると

思われますか。

作物の種類によって適するものと、適さないものがあるのではないかと思います。その原因はわかりません。

なすが不調・・・植付け前に多めに入れすぎた。

塩化ナトリウム2.6%が気になります。

窒素、リン酸、カリとも1%台なので、肥料分が不足したのかも

石灰の13.3%がアルカリ性を高めたのか。

土を耕すのに時間がかけられなかったから、みずはけのを良くする腐葉土を多く入れれば良かったと思う。花は手をかけなくても、見事に咲きうれしかった。一般にたい肥は有機肥料と思いますが、今回のたい肥は無機性の感じがする。粒子が粉末状で有機性とは考えにくい、塩分、油分その他の成分が粒子状になっている感じがする。

天気のせいとも良くわかりません。球根類、鬼ゆりには良くなかった。

1回の使用だけでは、良くわからない。+ 1

一番大きな原因は天候、特にキュウリの型が良くない、曲がりが多く先細り、トマトは豊作。

量が少なく、効果が出なかったと思う。

有機質が必要

化学肥料より自然たい肥方が生育に役立つと思われます。

家庭菜園10坪・・・初めて使用しましたが、何時もよりも良く育ちました。

他の作物との間隔が狭かった。

たい肥の効果を期待したため、他の肥料等をあまり使用しなかった。

完熟たい肥で根にゆっくり効く感じ。

まだ家庭菜園を始めて日が浅いのですが、会社で皆に食べてもらった時昔の味がすると言われました。

野菜はよく出来ました、鉢でトマト大変よく出来ました。山草、山ノ花の場合、特に注意、量を間違えたかな。

1ヶ月前にたい肥をまいてよく耕してからジャガイモを植え付けたので、たくさん取れました。

野菜作りは土作りで生ごみたい肥と苦石灰を混ぜたのみ、追肥をしないのに良く実がつき、周りの人に感心された、枝や葉も状態も良い。

初めての所に植えたのでミニトマトなど2mも伸び数えきれないほど実をつけ、孫たちに喜んで食べさせています。

肥料にあると思います、伸びすぎたかな。？

従来からたい肥を混ぜていたが、今回いただいた生ごみたい肥でも同様の結果が出ていると考える。

限られた鉢の中なので、肥料過多にならないようにしました。

天候が良かった。手間をかけた。

今までと、今回配付のたい肥を使用する以外何も変えていないので、今回配付のたい肥が大きく影響していると思う。(ふるさと農園)

堆肥9：生ごみたい肥1の割合が良かったのではないか。(良い例)

今までたい肥をあまり入れなかった。今回生ごみたい肥を入れたため、生育と根はり、味がよかった。

今は畑の土を作るという課題がありいろいろな物を使っております。いただいた、たい肥がどの位の状況かは良くわからない。

昨年度いただいたたい肥はパサパサした感じだったが、今回はサラサラとして草花の使用に良い。

畑を良く耕し、排水を良くする事。連作を避ける事。

今年度は特に良かった。

連作気味の畑である為、連作にも良い効果があるかも知れない。

土と良く混ぜた。ミニ耕運機を使った。

ゆっくりと長い間効果があるようです。原因は不明ですが収穫時期も長い。

野菜は葉の成長が良い、実のつきも良、味は不明、肥料をすぐに吸収できたのかも知れません。花物、果樹は効果が出ていない。

野菜に甘味があったような気がしました。

与える量でよし。

プランターの方は市販の土に肥料が入っていたせいか、混ぜる量が合わなかったのか、枯れてしまった（根ぐされ）ので使っていない。

たい肥のおかげで良かったと思います。

たい肥の配合量が良かったと思う。

土壌改善（団溜化）

生ごみたい肥その物が良いと思います。

今まで土がやせ過ぎていた。

台所資源たい肥を使わせていただくのは、初めてなのでまだ良くわからない。

その他のご意見

- 生ゴミだけでなく、せん定樹林や落ち葉、抜いた雑草などもゴミとして焼却するのでなく、たい肥として活かすことはできないのでしょうか？とくに秋の落ち葉はもったいないくらいです。
- 生ごみがたい肥になって戻ってくるのは大変うれしく、いつも利用させていただいていますが、実は私どもは生ゴミをゴミとして出したことはありません。毎日庭に埋め、ゴミを増やさないよう努力しています。
- 一番良い点 土がフカフカにやわらかくなってよい
3～4月に配布されますが、作物を作るにはもっと早い時季にほしい。3～4月には遅い。大変助かっています。
- 配布される度、頂いており、ありがとうございます。次はいつかなと紙面を良く拝見しております。
- 無料配布でなく有料にしてください。

- 初めてなので控えめにした。
- 臭いが無くなると良いと思います。
- 近年我が家の狭い半日陰の庭で家庭菜園をしています。今年は初めてジャガイモを作り、種イモ 1 k g から 1 2 k g の収穫でした。収穫時には離れて暮らす小さな孫二人がイモ掘りです。さっそく湯で上げ食べました。ほくほくしておいしかったですよ。
- 封を切っておいておくと臭いが気になる。
- 作物は天気その他で変わりますので良くはわかりませんが、喜んで使用させて頂きました。ありがとうございました。
- 今回のたい肥は前回より臭いがあまりなかったように思われます。
- 生ごみたい肥の使用は初めての事で、上記の野菜に使用しましたが、今の段階では、なんとも判断できません。これから何回か使用してからと思います。今後ともよろしくね！大変でしょうが頑張ってください！！
- 我家では庭に花樹(花卉)があり、一部は畑として使っているが、今後花樹(花卉)にも使って効果があるかみてみたいと考えております。
- 無料で頂けてとても助かりました。においはキツイですが、結構立派なじゃがいも等が出来た時は、とてもうれしかったです。これからも是非続けて提供して頂けたらいいと思います。堆肥化推進担当の皆様、今後ともよろしくお願い致します。
- まだ 2 年使用なので生育の結果は何とも言えない面があると思う。「今までと変わらない」で答えた。
- 比較区を作って栽培しないとわからないと思う。目にみえてよかったり悪かったりは判断しかねる。試験区を作って作物を 3 種類くらい選び、他のたい肥を指定し 2 0 ~ 3 0 人に依頼してみてもいい。そうしないと感じ(気分)だけになってしまう。
- 暑い夏になります。体に気をつけて下さいね、ご苦労様です。
- 化学肥料のみだと土がかたくなるが、これがなくなったように思われます。成分上野菜によいかどうか疑問はあります。花木などには良いと思います。生ごみたい肥ありがとうございました。堆肥化ご苦労様です。次回も希望します。
- さまざまな肥料を混合して使っているのですが、資源たい肥による効果が有ったかどうか明確な解答は出せないが、以前の品質と比較して使用良いことは知った。これならもっと量を使っていきたいと考えている。今後の改善に期待します。
- 専門的な事は良くわからないので勉強したい。
- 出来ましたら野菜、お花、実のつく木、分けてあれば使いやすい分量どの位かと思ってまちがってしまうと全部が悪い方に出してしまう。野菜何 g くらいとか、

お花何g位とかあればいいと思う。

今後もぜひ生ごみたい肥使わせて頂きます。お願いします。

- 冬の野菜にも使用してみたいので、どのようになるか楽しみだ。
- ナスは連作を嫌うと言いますが関係ナシ。キュウリは2本植えたが物すごいなり様。サツキは天候の加減で花芽は少なかったが大きくて色が良かった。菊は伸びすぎて半分に切ってしまった。またよろしくお願いします。
- 何回か宮代の衛生組合でたい肥をいただきましたが、その時は小さな木片も混じって「完全な堆肥でない」と思いました。

今回のたい肥は市販のものと変わりなく良い堆肥ができたと感心し使っています。

- これからも継続して貰いたい
- 定期的に配布してください
- 変わらないとしましたが使用しなかったらどうなっていたか……。たい肥として足りているので、それなりにという感じです。
- 今回いただいた肥料を一回だけ使用して、その効果はあまり短期間では期待してはならないと思います。45㎡の畑に20kgを5月初期に追肥の形で使用した。多分、収穫後の遊休期に肥料を混合して、翌春の野菜の育成に耕土となじませる期間が必要ではと考えています。

引き続き肥料の配布の方を、宜しく願いたいします。

- 人によっては臭いがきついので使用しないと云われたので少しでも緩和されたらよいと思う。

配布外地区の方も使用してみたいという声が多いので考えて下さい。

- 1、作物ごとの具体的な施用例を教えてください。
- 2、園芸センターでの実験例を発表してください。
- 大変でしょうが広めていってください。
- 配布頂きありがとうございました。庭先で少し作物を作っている状態なのではっきりわかりませんが、これからもたい肥の配布を続けて頂ければと思います。
- たい肥有難うございました。効果は市販のたい肥とあまり変化は感じられませんでした。生ごみをたい肥にいかせることは素晴らしいことだと思います。臭いがもう少し改善されればと思いました。
- NPK等の配分がわかると使いやすくなるのですが？
- 今回は使用時期が短い為、まだ評価出来る段階ではありません。
- 団地行事等にて、たい肥を無料にていただき、お友達の分までも使わせていただき大変助かっております。ありがとうございます。他の市町村ではうらやましいと云っております。
- 毎度たくさんのゴミをあつめていただきありがとうございます。庭先のせまい

所に作物を植えたり、種をまいたりするので、生ごみたいひを土とまぜてから2週間もたたないと作れないので、その間土地をあそばせておくのが都合わるいと思います。なぜすぐ作れないのかわかりませんが、その点が改良できたらいいと思います。

私の家では生ゴミは植木のまわりとか作物をとった後とかに穴を掘ってうめております。

- これからも肥料をこのような感じで分けて貰えとうれしいです。今度は花にも使用しようと思います。
- 今後とも積極的に配布してください。
- 球根類 使用のやり方が悪かったのかも知れませんが、芽の出はじめに上にのせましたから。
- 今後も台所資源（生ごみ）たい肥の無料配布の継続をお願いします。
- 土地をほり帰す事が出来て良かった。感がもどった（農作物に対して）
今後は花を造ってみようと思った。有機物の堆肥と違った感じです。無機物の堆肥と考えられる。今のところ結論を云える段階でないのですが、あまり有効とは云えません。成分を化学的に分析して公表してもらいたい。
- 毎年野菜を作っている。肥料の入っている土ではないし、化学肥料は使いたくないが、しかたなく化成を1回くらいまいていた。今回使わせていただいた台所資源堆肥も何年か使って土をなじませていかないと1回使っただけでは結果はわからないと思う。できたらまた来年も台所資源堆肥をいただきたいと思ひます。おかげ様で今年のとれた野菜が安心しておいしく食べられました。
- 自己流ですが、落葉、米ぬか、鶏ふんなどと混ぜながらしばらく置いて使っています。他の人の話も聞きたいと思う。イチゴなどは成育も良く甘味が強い。今後も使用したいと思う。
- 桃は天候に恵まれたが、例年より鶏ふんを与えてなかったためか甘味がない。赤土を盛土した土地なのでブドウも植えたが甘みが少ない。ブドウには肥料をやると枝ばかり伸びると聞いていたが、TVを見ていたら宮崎のワイン作りで糖度に難があったため土作りとして生ごみ（30 処理）と鶏ふんを与えた。枝も伸びたが甘みがフランス並みの糖度が出てワインが世界的に認められたとか、来年はそれを教訓として試みたいので多量を調達できたらウレシー。
- 生ごみをたい肥にすることは、地球環境にとっても良いことと思います。すべての物をムダなく環境にもやさしく利用していくところは、これからもどんどん推進して行ってください。
- 畑が多く借りているので、もっとほしい。
- 畑の土質とまだたい肥の量が少なかつたと思う点。またこの次にたい肥の配布がありましたら又使わせて頂きます。

- 有機栽培という事で、他の肥料は使わずしてみました。安心して食べられました。本当に有難うございました。
- やっと梅雨が明けそうになり、蒸し暑い毎日が続いています。堆肥化は大変有意義な事ではありますが、この温度と湿度では、臭いや害虫発生でご苦労なさっておられるのではとご推察しております。外野で理論上ああすれば良いとか、こう言う風にするべきだ等と言う事は容易いことですが、実際に行動しておられる方々の大変さは筆舌につくし難いものと思われ、心より感謝いたしております。私はずいぶん昔に久喜宮代衛生組合のご援助を受け、生ごみコンポストを買いました。緑色のふたつきの大きいものです。数年前にそのコンポストにメロンを放り込みました。熟させようと思って冷蔵庫にいれずに、台所の机の上においておいたら、熟しすぎて醗酵したようになったので、がっかりして放り込んだのです。そしてその上から庭の抜いた雑草や、剪定した植木を放り込み、虫がわくからと土をいれて、数年間放りっぱなしにしていました。すっかり生ごみコンポストの存在すら忘れていたのです。今年庭を拡げて今まで鉢植えにしておいた植物を、直接地に植える事にしました。歳をとってその方が私にとって楽だし、植物にとってもその方が良いだろうと思ったのです。そして、その時突然生ごみコンポストの事を思い出して、生ごみコンポストの中身を庭にまいたのです。ある朝庭一面にきゅうりの二葉のようなものが出ていました。なんだろうなあと思いました。きゅうりに似た雑草ってあったっけ、と考え込みました。抜こうと思ったけれど、ちょっと待ってみようと思いました。だんだん大きくなってきました。かぼちゃかなと思いました。でも、きゅうりよりはたくましく、かぼちゃ程猛々しくはないのです。ある日突然思い出しました。そうだ、熟しすぎたメロンを生ごみコンポストにいれたよ……。あの真っ暗で、いろいろなものを放り込んだコンポストの中で、腐りもせず、カビも生えず、数年間も生きているのですね。化学肥料は死んだ肥料なのですね。化学肥料を使い続けると土地はやせ衰えると聞いていましたが、堆肥は植物を生かし続けると言うのが実感として理解できました。私は毎日わくわくしながらメロンを見守っています。日当たりの良くないところに芽吹いた苗は大きい鉢に培養土と久喜宮代衛生組合から、いただいた堆肥とまぜたものに植え替えて、日当たりの良い所においてあげました。あちこちのメロンの苗に花が咲き始めました。メロンは実るでしょうか。がんばれメロンと毎日応援しています。また、買ったときだけ咲いた鉢植えの藤の花も堆肥をまぜた培養土に植え替え

たところ十年ぶり6房も花が咲きました。いろいろと楽しみを与えてくださり、心より感謝いたしております。

人にも、植物にも、地球にも、環境にもやさしくすばらしいお仕事だと思えます。大変な事も多いと思いますが、皆の為にがんばって頂きたいと思えます。何もお手伝いできませんので、せめて分別をせいいっぱい協力したいと思っております。